

事業再生のみちしるべ

Vol.2 困ったらまず相談

経営に不安を感じたら相談できる人はいますか？ _____

経営者が常に自社の経営状態を客観的な視点で把握し、リスクに備えておけば、早期に対策に着手できて改善の可能性も高まります。しかしながら、客観的な視点で自社を分析することは非常に困難であり、取引金融機関など外部から指摘を受けた時には、既にかかなりの窮境状態となっていることが多いのです。

顧問弁護士、金融機関、その他こんな相談先も _____

窮境に陥った際に最初にすべきことは、まず信頼できる誰かに相談することです。顧問税理士さんは会社の内情、特に「数字」を把握してくれていますので、最も身近な相談相手と言えるでしょう。困ったらまず相談し、客観的な目でアドバイスしてもらいましょう。

資金面ではメイン金融機関との信頼関係以上に大事なものはないでしょう。自社を知ってもらうために普段から積極的に情報発信してください。その上で、もし融資を断られたら、あらためて本音で話してみましよう。自分では気づいていない会社の問題点が見つかるかもしれません。相談できる公的機関もあります。それは各県の中小企業再生支援協議会です。同協議会は中小企業の再生に向けた取り組みを支援する公的機関であり、直接相談することも可能です。金融機関等の関係者調整を経て、再生計画作成支援から作成後のフォローアップまで関与していただけます。自分だけで抱え込んでいても解決しません。なるべく早く勇気を出して相談することをお勧めします。



ビズリンク・アドバイザリー株式会社
取締役パートナー(税理士) 中井 功